

平成 30 年度 第 1 回 砂川市総合戦略推進委員会

○委員

団体名	役職	氏名	備考
砂川商工会議所	会 頭	其田 勝則	
砂川市町内会連合会	副会長	岡本 昌昭	
新砂川農業協同組合	専務理事	佐々木 孝一	
砂川観光協会	会 長	石家 裕二	
砂川金融協会	北洋銀行砂川支店 支店長	北市 裕之	
砂川建設協会	会 長	三土 壽廣	
砂川市校長会	会 長（石山中学校校長）	土屋 政希	
砂川青年会議所	理事長	齊藤 邦宏	
砂川地区連合会	会 長	田畑 秀也	欠席

○市役所

総務部長	熊 崎 一 弘
市民部長	中 村 一 久
経済部長	福 士 勇 治
建設部長	湯 浅 克 己
教育次長	河 原 希 之
市立病院事務局長	朝 日 紀 博

○事務局

総務部政策調整課長	井 上 守
総務部政策調整課長補佐	玉 川 晴 久
総務部政策調整課企画調整係長	谷 地 雄 樹

1 開 会

事務局： 只今から、平成30年度第1回砂川市総合戦略推進委員会を開催させていただきます。今年度は、委員の任期2年が新たに始まる年でございます。善岡市長から皆様に委嘱書を交付させていただきます。

2 委嘱書交付

市長より各委員に委嘱書を交付。

3 挨拶

市長： 本日は大変お忙しい中、平成30年度第1回砂川市総合戦略推進委員会にお集まり頂き、本当にありがとうございます。最近は、暑い日が続いておりますけども、あと2年半ちょっと経つと、新しい庁舎ができて、少しは、快適な環境の中で会議ができるのではないかと考えております。本会議につきましては、この地方創生事業、平成27年度から実施しており、今日は29年度の事業を検証するという会議でございます。27年から、ちょうど4年目に入っておりますけども、この4年間で、砂川市が地方創生で使ったお金、単年度あたり1億、この1億がずっと毎年出ていきます。なかなかこの近隣でそこまで地方創生でやっている市町村はございません。極めて危険な賭けというか、ここまでかけた以上は結果を残さないと、ただ経費を出しただけになる、ということで、職員も含めて、より効果的な事業を、住民と対話をしながら、より効果的な事業としてやっておりますし、29年度からですか、空き家対策の専門の課を作りまして、係長と課長で各住宅をまわりまして、全部データベース化をしました。そこで色々文書を出したり、電話でやり取りをしながら、その交渉結果として、ここ3年間で21件が売買、又は賃貸に、その他文書を送るものですから、古くなったところは子ども達が解体するよう動いてくれたというのもございまして、やはり、そこまできめ細かくやるから結果が出てくるというのがございますので、なんとか、砂川市は手を抜かずにしっかりとやりながら、将来に向かってしていきたいと。そういうふうにはやっておりますので、この平成29年度の事業についても、皆さん方に色々とお手間をかけながら、検証しながら次の事業につなげていきたいと、そのように考えておりますので、どうぞ皆様よろしく申し上げます。

事務局： 市長につきましては、ここにて退席をいたします。

市長： どうぞ、よろしくお願いいたします。

事務局： それでは、次に次第の4番目、委員長及び副委員長の選任に入りたいと思

います。

4 委員長及び副委員長の選任について

事務局： お手元の資料1をご覧いただきたいと思いますが、本委員会の委員長及び副委員長につきましては、砂川市総合戦略推進委員会設置要綱第5条第2項によりまして、委員の互選により定めるとされております。委員長及び副委員長の選出につきましては、ご意見、ご提案あればお聞きしたいと思います。ご意見はございますでしょうか。

各委員： (特に発言なし)

事務局： 特に無いようでございますが、事務局の方から提案させて頂きたいと思いますがよろしいでしょうか。

各委員： 異議なし。

事務局： それでは、案でございますが、前年度に引き続きまして、委員長には、商工会議所会頭であります其田委員、副会頭は、砂川市町内会連合会副会長であります岡本委員にお願いしたく思っておりますが、皆様いかがでしょうか。

各委員： 異議なし。

事務局： それでは、其田委員長様、岡本副委員長様、引き続きよろしくお願ひしたいと思います。それでは、其田委員長につきましては、委員長席へ移動して頂きまして、新任にあたってのご挨拶を頂ければと思います。よろしくお願ひします。

委員長： 前回に引き続きまして、再任という形で委員長を務めさせていただきます。皆様のご協力を頂きながら進めていきたいと思ひます。日頃からよく知っている方たちばかりなので、割と話しやすいと思ひますから、忌憚のないところで、普段着の会話ができるかなと。先ほど市長が言いましたように、27年度ですね、28年1月から3年が終わります、4年目に入ったという事で、この委員会につきましては、PDCAサイクルにのっとりまして検証するという大事な会になっておりますので、それぞれの立場で、有識者の意見として出して頂ければと思ひますので、ご審議をお願いしたいと思います。以上です。

事務局： ありがとうございます。それでは、今後の進行につきましては、委員長のお手元で進行して頂きたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

委員長： それでは、次第に従いまして進めて参ります。5番目、報告事項です。「地方創生推進交付金」の交付対象事業として、事業の報告をお願いします。まずア、「ワーク・ライフ・バランスとキャリアデザインの推進による雇用創出事業」について報告をお願いします。

5 報告事項

(1) 地方創生推進交付金交付対象事業の進捗状況について

ア ワーク・ライフ・バランスとキャリアデザインの推進による雇用創出事業

経済部長： 私の方からアの「ワーク・ライフ・バランスとキャリアデザインの推進による雇用創出事業」について進捗状況を報告します。この事業は、地域の若者が地域で就職するよう、企業、砂川高校、生徒、保護者のマッチングを図り、雇用を創出することを目的としたものでございます。背景にもございますが、企業側は人手不足が課題である一方、学校や生徒保護者は砂川の企業を案外知らないという実態がございます。また、働く意味を高校生のうちから考えてほしいといったことから、平成28年度にジョブスタート事業をスタートさせ、平成29年度からは、砂川雇用促進協議会を中心とし、内容を拡充し取り組んでいるところでございます。平成29年度の主な事業は、右上にございます。企業PR冊子、映像の作成、ジョブスタート事業、人づくりゼミナール、ジョブスタ応援企業の登録の4事業ですが、次ページに、実績報告がございますので、後程ご覧いただきたいと思っております。今年度につきましては、左下にありますように、主にインターンシップ事業、ジョブスタ、人づくりゼミナールを実施いたします。インターンシップ事業では、夏休み期間中のインターンシップ事業に3件の申し込みがございまして、現在企業と砂川高校生徒の調整をしているところでございます。また、企業（工場）見学は、9月23日に青年会議所が実施する夢のかたちプロジェクトin砂川と連携して実施する予定としております。ジョブスタといたしましては、11月、12月、1月にワークショップを開催しまして、来年2月15日ジョブスタin砂川高校を開催する予定となっております。人づくりゼミナールは、10月、11月に中小企業大学校旭川校のサテライトゼミをゆうで実施いたします。また、記載しておりませんが、ジョブスタ応援企業の登録につきましては、昨年度30社でしたが、今年度は現時点で10社増えまして、40社となっているところであります。これらの事業は、昨年10月に設立しました、砂川市雇用促進協議会の事業として実施しておりますが、ジョブスタ応援企業の拡大、若者からの発信、高校生の参画を進めていきたいと考えているところでございます。アについては以上です。

委員長： ただいま、ワークライフバランスとキャリアデザインの推進による雇用創出事業について経済部長から報告がありました。皆さんから何かご質問等あればお受けしたいと思います。

各委員： (特に発言なし)

委員長： 特に無ければ、最後に一括でお受けしたいと思います。それでは次に、イのふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光振興事業について、お願いします。

イ ふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光振興事業

経済部長： 続きましてイの「ふるさと名物『すながわスイーツ』を活用した観光振興事業」についてご報告いたします。すながわスイーツをはじめとした地域資源や、観光資源を有効活用し、観光客を呼び込み、まちの活性化や経済的効果を高めることを目的としている事業でございます。すながわを紹介する時に「医療とお菓子のまち」とよく言いますが、背景にあります、すながわスイートロード協議会は15年以上活動しておりますし、平成27年12月には、すながわスイーツを地域資源とする、「ふるさと名物応援宣言」をいたしました。また、観光協会におかれましては、ホームページをリニューアルしたほか、フェイスブックでの情報発信も積極的に展開して頂いているところであります。平成29年度の主な事業は、右上にありますように、チーム砂川団結セミナー、おもてなし観光ワークショップ、滝川砂川着地型観光推進協議会によるモニターツアー、インバウンド受入協議会による義士衣装を使ったインバウンドイベント等の事業を実施したところでございます。次ページに実績報告がございますので、後程ご覧いただきたいと存じます。本年度につきましては、左下にありますように、チーム砂川団結セミナー、女子旅モニターツアー、まちなか観光サイクリングの実施、インバウンドの受入れ、雑誌、WEB、メディアによる広告、観光ビジネスマッチングへの参加、シティサマーパーティー2018への出展に取り組んでおります。チーム砂川につきましては、7月に第3回目を開催いたしました。毎回100名を超える参加者がいるところでございます。今年度はあと2回開催する予定をしておりますが、今後は実際に事を起こすためのワークショップを開催していきたいと考えているところであります。日本各地で地域ブランドづくりの取り組みがされておりますが、福祉、医療、産業を掛け合わせた砂川らしい地域ブランドを構築するよう事業を推進して参ります。今後ともご協力をお願いしたいと思います。イについての報告といたします。

委員長： イについては、ふるさと名物『すながわスイーツ』を活用した観光振興事業について報告がありました。まずは団結セミナー、あんなに人が来るのかなと思ったんですが、結構すごい数だったところです。これも成果ですね。これが今後どうなっていくかが非常に期待されると思います。皆さんから何かご質問等あればお受けしたいと思います。J Cさんどうですか。

委員： 先ほどお話しがありました9月23日夢のかたちプロジェクトin砂川ということで、砂川市の皆さんと合同で事業を開催する運びでメンバーと動いている最中でございまして、今現在企業の方たちと会社の内容をまとめたものを掲示するというパネル作

成にとりかかっており、現在砂川市内で100社を超える企業のご協力を頂いているところでございます。まだ、引き続き企業にお話をさせて頂いて、ご協力をお願いしたいと思っております。また、ジョブスタ関係や後は協議会の皆さまとも連携をさせて頂いて、当日多くの高校生をお招きしてパネルディスカッションを行う予定でございますので、こちらの方も引き続き砂川高校生や近隣の高校生に参加頂きたいと思っておりますので、併せましてこちらの方もご協力をお願いしたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。質問というより、お願いになってしまったのですが、以上です。

委員長： ありがとうございます。今年JCの活動の成果が上がるよう期待しております。他に皆さんから、今の報告についてのご質問、ご意見はありますか。ア、イについて現在進行形という事で、今年度も色々な事業を展開されていますので、その都度、皆さんのご支援を頂ければと思います。それでは、特にご意見が無ければ報告事項は終了しまして、6番の「協議事項」に入りたいと思います。協議事項につきましては、砂川市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標1～4それぞれのKPIについて説明を受けたいと思います。それではまず基本目標1の「安定した雇用を創出する」について事務局からご報告を願います。

6 協議事項

(1) 砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標及び重要業績評価指標 (KPI) の検証について

ア 基本目標1 安定した雇用を創出する

事務局： それでは、基本目標ごとに、各実施事業における実績等について、ご報告いたします。まず、説明に入ります前に、初めて方もおりますので、総合戦略全体のイメージ、組み立てについて、おさらいしておきたいと思っております。資料3をご覧ください。こちらは、総合戦略の全体像を表した図であります。上段中央に「砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略のめざす姿」として、3本柱を記しています。これは、「人口減少」、「地域経済財の縮小」を克服するための基本姿勢であります。これら3本の「めざす姿」を実現するために、中段の囲い部分になりますが、基本目標1の「安定した雇用を創出する」から、基本目標4までありまして、黒色のひし形が付いているところになりますが、それぞれ、数値目標が、2つずつ設定されています。「基本目標1」ですと、1つ目が「創業支援事業に基づく新規就業件数」、2つ目が「新たな雇用者数」となっております。また、これら基本目標を実現するために、矢印が下におりていますが、それぞれ、施策や個別事業を展開しているところです。○が付いている部分が個別事業にあたります。これら、基本目標と個別事業の関係を説明しますと、例えば、説明しやすいところで、「基本目標2」のところをご覧ください。一つ目の数値目標ですが、「砂川市の転出超過数」となっております。これは、H26に205人だったものを、H31には150人に減らす、といった目

標です。矢印を下に下がってもらいまして、各個別事業が並んでいます。転入者を増やすという意味合いでは、「移住定住促進事業」や「農業体験事業」は効果的な事業でありますし、転出者を減らすという意味合いでは、「砂川高校支援事業」を充実させて、地元学校への進学を促し、若者の地元定着を図ることも重要です。このように、個別事業による成果が、数値目標の達成につながる流れになっています。当然、個別事業にも、それぞれ「指標（重要業績評価指標）KPI」を設け、目標値を設定しています。本日は、それら目標値に対して、H29の実績はどうだったのか、を皆さんにご報告し、検証していただくものでございます。資料3の説明は以上ですが、本計画期間も、残すところ、今年を含め、あと2年間となり、今後の計画変更を考えますと、本年度の変更が最後になると思います。本日は、それぞれの事業を所管する部長さん方も出席しています。ここで意見や要望をいただければ、H31予算編成に向けて、必要とあれば、事業化等の検討もさせていただきたいと思っております。どうぞ、忌憚のないご意見を、よろしくお願いいたします。

それでは、資料4に基づきまして、まず、基本目標1の説明をさせていただきます。資料4、A3版の「数値目標・KPI集計表」をご覧ください。始めに、この表の、つくり・見方について、4点ほど説明したいと思っております。1点目：表のレイアウトについてです。上段の括り部分が、2つの「数値目標」に関する部分、また、その下、後段の括り部分が、個別事業に関する部分になります。2点目：配列・項目についてです。上段の「数値目標」に関する部分につきましては、左から、「数値目標」、「基準値」、「目標値」、「H27からH31の目標値・実績値」、「H29実績値に対する事業担当課の所見」となっています。また、後段の個別事業に関する部分については、左から、「施策名・事業名」、「重要業績評価指標（KPI）」、「H27からH31の目標値・実績値」、「H29実績値の増減理由及び今後の取り組み」となっております。なお、個別事業の「基準値」、「目標値」については、「重要業績評価指標（KPI）」欄の中で、「指標名」の下に『なんぼ→なんぼ』と記載しています。3点目：目標値の考え方についてです。目標値の右に（ ）で、「5年間」と「平成31年」、2種類の標記があります。（5年間）は、H31までの5年間の累計件数等を目標としているものです。（平成31年）は、H31時点の数値実績を目標としているものです。4点目：各年の「目標値欄」の数値等の標記の仕方についてです。「数値が書かれているもの」、「ーが書かれているもの」があります。目標値を「5年間」としているものは、各年に数値が入っています。また、目標値を「平成31年」としているものは、基本的には、『5年後にはこうするんだ』、という意味合いなので、途中年は「ー」としています。しかし、一番下にある「ワーク・ライフ・バランスとキャリアデザインの推進による雇用創出事業」の指標、「市内の就職人数」のように、段階的に、目標値を設けている指標も、いくつかございます。4点の説明は以上です。

それでは、一つ目の基本目標、「安定した雇用を創出する」の説明に入ります。まず、上段の2つの数値目標についてです。一つ目の「創業支援事業に基づく新規創業件数」は、H29目標値1件に対し、実績値は3件で、目標を達成しました。また、H

28 の実績 4 件と合わせると 7 件となりましたので、5 年間で 5 件という、最終目標値も達成しました。所見等については、この数値目標が個別事業の指標と同じですので、後ほど個別事業の説明の中でお話しします。二つ目の「新たな雇用者数」は、最終目標値 40 人に対し、実績値は 27 人 (67.5%) で、順調に進捗していると言えます。前年度 0 人から大きく増えたのは、看護学生修学資金貸与事業による就業者数が、新たに数値として入ったのが要因です。こちらも個別事業の指標と重複していますので、後ほど個別事業の説明の中でお話しします。次に、個別事業について説明します。(1) 1) 「クリーン農業推進事業」は、最終目標値 20 戸に対し、実績値は 16 戸 (80%) で、順調に進捗していると言えます。H28 から 5 戸、H27 から 3 年間では 11 戸増えるなど、特裁米ゆめぴりかが高価格であるのが、要因の一つとなっています。(1) 2) 「農業 6 次産業化整備促進事業」は、最終目標値 5 戸に対し、実績値は 6 戸で、最終目標値の水準に達しました。H28 と H29 に 2 戸ずつと着実に増えており、農業者自らが加工品販売に取り組む状況がみられてきています。(1) 3) 「商店街空き店舗対策事業」と「創業支援事業」については、それぞれ、H29 目標値 1 件に対し、実績値は 2 件と 3 件で、目標を達成しました。また、過去の実績を合わせた累計でも、それぞれ 12 件と 7 件となり、5 年間で 5 件という、最終目標値を達成しました。これら 2 つの事業は、連携が強く、創業支援による創業者を、空き店舗での開業に誘導することも効果的と言えます。実際に、H29 の 3 件の創業者中、2 件が空き店舗を利用して開業しています。(2) 1) 「担い手育成支援事業」は、H29 目標値 5 ha に対し、実績値は 0 ha でありましたが、H27 と H28 の合計実績で 19.19ha となっており、既に、5 年間で 15 ha という、最終目標値は達成しています。実績が無かった理由は、H29 より国の補助要件が変更となり、農家にとって使いにくい補助となったためですが、農家からは、基盤整備の要望があることから、取り組みやすい補助メニューについて、調査検討を進めているところです。同じく(2) 1) 「農作業受託組織支援事業」は、最終目標値 320ha に対し、237ha (74.1%) で、進捗も、さほど悪くないように見えますが、2 年連続で減少し、昨年度から 24ha 減っています。これは、農業担い手へ、農地の集積が進んだためであり、やむを得ない部分ではありますが、今後に向けては、水稻の農薬散布等作業について、円滑に進めるために課題も出てきていることから、対応について検討を進めているところです。同じく(2) 1) 「農業後継者 U ターン支援事業」は、H30 と H31 に 1 人ずつと、5 年間で 2 人という目標値であります。H27 に 1 人実績はありましたが、支援策の充実を図りながら、今後を期待しているものです。(2) 2) 「看護学生修学資金貸与事業」は、最終目標値 32 人に対し、実績値 24 人 (75.0%) で、順調に進捗していると言えます。これは、H28 に、以前行っていた返還免除制度を取り入れたことで、H29 から制度利用者の当院への就職が始まったことによるものです。卒業生のうち、進学希望者を除く、多くの学生が当院に就職している状況です。(2) 3) 「介護人材育成支援事業」は、H29 目標値 3 件に対し、実績値は 3 件で、目標を達成しました。また、最終目標値は、5 年間で 15 人、年間 3 人ずつという目標に対

し、3年間で8人という実績から、順調に進捗していると言えます。事業所では、当該事業に対する、理解と積極的な取り組みが行われているところであります。(2) 4)「雇用創出事業(企業振興促進対策事業)」は、H29 目標値5件に対し、実績値は0件で、3年間、実績が出ていません。なかなか企業誘致が進まない中、H29 中には、企業振興促進補助金の対象となる施設の新設が2件あったことから、H30 年度は実績が上がるものと期待しています。また、H30 は、同補助金の条例改正を行い、業種対象を広げたところです。(2) 5)「ICT人材育成事業」は、最終目標値440人に対し、886人(201.4%)で、最終目標値の水準に達しました。また、昨年度より360人増えた理由は、育成事業の成果発表事業を拡大したものであります。

(2) 6)「ワーク・ライフ・バランスとキャリアデザインの推進による雇用創出事業」は、H28 にジョブスタート事業として始めたもので、地方創生推進交付金対象事業となっているものです。前段の報告事項を聞かれて、事業内容等は把握いただけたものと思います。この事業は、3つの指標を設けた中で、目標値を設定しています。H28 からジョブスタート事業として、高校1年生を対象に始まったものでありますので、事業効果が数値として現れるのは、H31 年度以降となります。それぞれ、H29 目標値に対して達成はしていませんが、ほぼ目標値に近い状況であります。また、「地元の参加企業数」は、最終目標値15社に対し、35社であり、この事業に対する、企業さまの認知度、事業効果が高まっているところであります。基本目標1につきましては以上です。

委員長： ただ今、基本目標1、雇用を創出するというところで、(1)の産業の競争力強化、(2)人材育成、雇用対策について報告を頂きました。いずれも商業の部分、農業の部分、医療の部分の分野があるということですが、皆さんの方から、ご意見、ご質問があればうけたまわりますが、いかがですか。

各委員：(特に発言なし)

委員長： 農協の佐々木さん、農業の部分からいかがですか。

委員： 質問ではないのですが、まずクリーン農業推進事業についてですが、特栽米を作る農家数を目標20戸としてということではありますが、平成29年度16戸になっていますが、30年度、特栽米というのが、前年の秋から支度をしておりますので、30年度の数字は実は1戸減って15戸になっています。特栽米は只やればいいというわけでは無く、いろいろ制約があります。それに対応できない農家が出てしまったという事で、特栽米扱いできないという事で減ってしまっております。目標の20戸はちょっときついな、という気はいたします。あと、もう1つですが、農作業の受託組織支援事業ですが、この所見の部分に書いてありますが、浦臼町の無人ヘリコプターの防除組織ですが、今年委託して防除して頂いたのですが、

高齢化が進んでもうできないということを聞いておりまして、それでも今年は何とかお願いしている状況であります。今へりに代わりまして、ドローンを使った防除という事で、農協として、ドローンメーカーと組織等をつくらなければならないのかなという状況にありまして、近々の課題となっております。以上です。

委員長： 気になるところがあるのですが、担い手育成支援事業の、29年度の実績が0であると。所見には平成29年度より補助要件が変わったということですが、担当の方からお話し願えますか。

経済部長： 担い手育成支援事業という事でございますが、指標につきましては基盤整備を実施し経営の効率化を図った面積となっております。それまでは農家と事業者とで見積もりを取って基盤整備をする金額が決まっていたのですが、そうではなく、行政から金額を出す流れになりまして、そうすると事業費が高くなってしまい、農家さんとしては基盤整備に使いつらなくなってしまった結果、利用者が無かったといった現象があります。北海道ではよく機能していたのですが、国からそういうやり方は好ましくないという指導があったものですから、結果的に事業費が高くなってしまって、手を上げる方がいなくなってしまったという現象がございます。

委員長： 業者の負担も増えるということでしょうか。行政が見積もりをすると、どうしても高くなってしまふのはそうだと思います。何か対策はあるのでしょうか。

経済部長： 利用できる補助メニューが限られており、市単独では難しいというのがあるので、もうしばらくはその状況が続いてしまうような気がしております。

委員長： 今は、目標が15ヘクタールということで達成しているので、とりあえず良いのかなと思いますが、その辺は善処していただきたいなと思います。

委員： 人材育成の雇用創出事業の説明の中で助成の対象となる新設が2件あったとありましたが、差し支えなければ教えていただけますか。

経済部長： 岩瀬牧場と鹿島環境エンジニアリングが工業団地に、そういうことで取り組んでくれたが、それに伴う新規の雇用が無かったので、実績としては0人です。

委員長： 対象となる施設は2件あったけども、結果としては雇用増にはつながっていないということですね。平成30年度に期待をしたい。

委員長： 他にありますか。

各委員：(特に発言なし)

委員長： それでは続きまして、基本目標2、新しいひとの流れをつくるという項目についての説明をお願いします。

イ 基本目標2 新しいひとの流れをつくる

事務局： それでは、二つ目の基本目標「新しいひとの流れをつくる」の説明に入ります。まず、上段の2つの数値目標についてです。一つ目の「砂川市の転出超過数」は、最終目標値150人に対し、実績値は47人でした。この指標は、実績値が目標値を下回るほど良いとなりますものでありますが、近年は、転出者数が頭打ちとなってきた状況が見られ、超過数が減少傾向にあります。二つ目の「観光入込客数」は、最終目標値1,342千人に対し、実績値は1,413千人で、最終目標値の水準に達しました。前年度より204千人増加した理由は、ハイウェイオアシス館のリニューアル、産直市場や新しいレストランがオープンしたこと、また、観光客にスマートインターチェンジの利活用が浸透してきたものと考えられます。次に、個別事業について説明します。(1) 1)「移住定住促進事業」は、H29目標値2人に対し、実績値は0人でしたが、H28が6人でしたので、5年間で6人という、最終目標値は、既に達成しています。移住体験用の、お試しハウスの利用は多いものの、即、結果には結びつかない状況ではありますが、引き続き利用者等とコンタクトを取りながら、事業を推進しているところです。現在は、移住に向けて具体的な相談が進み、最終段階に入っている案件も出てきているところです。また、本年度は、移住希望者からニーズの高い、就業分野の情報を、事業所さんの協力をいただきながら集めて、活用を図ったところです。同じく(1) 1)「農業体験事業」は、H29目標値1件に対し、実績値は2件で、目標に達しました。(2) 1)「情報発信による観光振興事業」は、最終目標値354,000件に対し、324,651件(91.7%)であり、順調に進捗していると言えます。TVや雑誌じゃらんに掲載したこと、また、マスメディアに砂川が紹介されたことが要因となっています。同じく(2) 1)「市街地回遊誘導事業」は、最終目標値260千人に対し、実績値は261千人で、最終目標値の水準に達しました。前年度より21千人増加した理由は、観光客数全体の増加、また、観光客にスマートインターチェンジからの出入りが浸透してきたものと考えられます。同じく(2) 1)「地域資源を核とした情報発信による観光客誘致事業」ですが、ここでは、2つの指標を設定しています。観光協会HPの「ポータルサイト年間アクセス数」と「まちなか観光施設入込客数」であります。「まちなか観光施設入込客数」については、1つ前の「市街地回遊誘導事業」と同じでありますので説明は割愛します。「ポータルサイト年間アクセス数」は、終目標値19,500件に対し、実績値は77,810件で、終目標値の水準に達しました。このポータルサイトは、H29年3月に、国の補助である地方創生加速化交付金を活用して整備をしています。観光情報については、市ホームページを始め、雑誌じゃらん等の掲載など、PRを図り、多くの人が、

リニューアルをした観光協会ホームページを閲覧したものであります。今後も、フリーWI-FIのアクセスポイントを増やす取り組み、また、HPの更新等を進めて、情報発信を充実させることとしています。同じく(2)1「ふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光振興事業」は、H28までは「地域資源活用事業」と「着地型観光プラットホーム協議会DMO事業」と別々であったものをまとめました。当該事業は、地方創生推進交付金対象事業となっているものです。前段の報告事項を聞かれて、事業内容等は把握いただけたものと思います。この事業は、4つの指標を設けた中で、目標値を設定しています。「観光入込客数」については、最初の数値目標で説明しましたので、割愛します。「スイートロード協議会主催事業参加人数」は、最終目標値1,800人に対し、1,683人(93.5%)であり、順調に進捗していると言えます。様々な団体と市が、連携して事業を進めていることで、参加者の理解も深まり、増加につながっているところでもあります。「ふるさと納税返礼品「すながわスイーツ」の数」は、H29目標値1,000件に対し、実績値719件で、5年間で5,000件という最終目標値に対しても、3年間合計で2,828件(56.6%)という状況であり、毎年、減少してきています。国からの通知により、H29年7月から、寄付金額に対する返礼品の割合を抑えなければならなくなったなどの要因はありますが、スイートロードの知名度をより向上させ、今後も幅広くPRを行うところでもあります。「DMO加盟団体数」は、最終目標値10件に対し、実績値は13件でありました。DMOは、まだ設立されていませんが、実績として上げましたのは、H29年4月に、DMOの前進となる「滝川砂川着地型観光推進協議会」が設立し、事業が開始されており、DMOによる事業展開と同等の効果も出ていることから、DMO設立後には、そのまま加盟団体となり得る、既協議会の会員数を実績としたところです。現在は、DMO設立に向けて準備を進めているところです。(3)1「砂川高校支援事業」は、最終目標値120人に対し、112人(93.3%)で、順調に進捗していると言えます。前年度から24人増加した理由は、生徒募集における宣伝方法の工夫など、支援策が浸透したものと考えられます。支援の拡充としてH29は、部活動の全道大会出場に対する補助金を追加、4年制大学10万円の補助金について、国公立大学を30万円に増額したところです。基本目標2につきましては以上です。

委員長： ただ今、基本目標2、新しいひとの流れをつくるということについて、ここは観光に特化していると思うのですが、皆さんの方から、ご質問ありますか。

委員長： ホームページのアクセス数というのは、観光協会のホームページのことか、市のホームページか、それとも両方合わせてなのでしょうか。

事務局： 情報発信による観光振興事業の実績値32万4千件については、市のホームページです。

委員長： それでは、ポータルサイトのアクセス数というのは観光協会ということで良いですか。

事務局： そちらは観光協会の数です。

委員長： 観光協会の立場から石家さん何かありますか。

委員： 近年の観光客は、観光地でないと行けないということが全てではないということでは間違いありません。これにつきましては、まず一つは砂川市で作った「砂川ぐるり」の小冊子の利用がかなりあるということ、それと今回観光協会の20周年ということで作った「あめたんマップ」がかなりの勢いで出ていますので、色んな所で使われているということで、こういうことも含めてPRがだんだん効いてくるのではないかと。また、スイートロード協議会のお店やポークチャップ協議会、市内のカフェもかなりできておりますので、その辺の情報発信で土日はお客さんが来ているかと。特に先ほど言った、小冊子を見てきたといったお客さんが結構いるということをお客さんでは押さえていますので、これからも増えていくのではないかと期待も持っています。

委員長： 観光客の見込み数ということで「shiro」だとか「YA-YELL」だとかそういったニーズを入込数にカウントされているのでしょうか。

委員： 観光協会ではゴールデンウィークの入込数については各お店に聞いて把握していますけど全体については把握していません。

経済部長： 道に報告している数値の中では、そういったお店のものは入っていないのですが、主にハイウェイオアシス館の入込客だとか、先日のラブリバーの主催者発表の数字ですとかそういったものを報告しております、小さなお店についてはカウントされていません。

委員： ゴールデンウィークの時期だとか、例えばJRのヘルシーウォーキングが終わった後だとか、そういうものについて、極力、観光協会としては店に何人くらい来ましたかといったことは把握しようとしています。

委員長： FREE Wi-Fiのアクセスポイントを増やすというのは具体的にどのような形で動いていますか。

経済部長： 観光協会のホームページをリニューアルする段階で、そういった取り組みを皆さんしましょうということで、皆さんに説明をさせていただく機会があった

のですが、なかなかそれぞれのお店のホームページの持ち方ですとかお店側の導入期間だとかありまして、状況としてはまだ進んでいない状況ですけれども、これから外国の方が来られるようになってきますと、皆さんスマートフォンで情報発信するということもありますので、なるべくそういった環境がお店の中にできるようやっていきたいと考えております。

委員： FREE Wi-Fiについては、個別の商店についてはなかなか難しいのですが、公共施設等、市立病院にもあったかと、ハイウェイオアシス館も使えたかな、市立病院には、FREE Wi-Fiありましたでしょうか。

市立病院事務局長： あるのですが、非常用の電波と干渉したりする部分もあるのでまだです。

委員長： FREE Wi-Fiって皆スマホで検索してきますよね。

委員： 何件かは増えているはず、ただ、商店とかではなかなか難しいみたいです。

委員長： その辺もちょっと精査していただければと思います。他に2についてのご意見ありましたら伺います。

委員： 今、ホームページだけの話でしたけれども情報発信としてSNSでフェイスブックとかスマホの上では主流になってきているので、そちらのほうでPRするというのはどうなのですか。

委員： 観光協会では、ウエイトあるものになるべく出すように、フェイスブックだとか、ただ、フェイスブックのほうも他のSNSにとられている関係もあって、なかなかフェイスブックの閲覧数もかなり減っております。ただ、情報発信はしておりますけど、たとえば「充電してみませんか？」など、皆を惹きつけるようなものがあればリーチ数は上がるのですが、普通のイベントだと大体300～500くらいのリーチ数です。昔は1,000だとか2,000だとか行ったのですが、やはりそんなことであります。情報発信の方はしていきます。

委員： フェイスブックで情報発信する担当の方は大変では、常に最新の情報を出していないと誰も見てくれなくなってしまう。

委員： フェイスブックのほうが入っていきやすい。インスタのほうも増えているから、時代によって変わっちゃうのですね。

経済部長： フェイスブックについて、市としてはやっていないのですけれども、SuBACoと移住定住の協力隊員が随時砂川の情報を流しているという状況もあります。

委員長： これからは情報発信がとても大事になってきますね。それでは、基本目標2について他に無ければ次へ進みたいと思います。続きまして、基本目標3の若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるという項目です。説明をお願いします。

ウ 基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

事務局： それでは、三つ目の基本目標「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」の説明に入ります。まず、上段の2つの数値目標についてです。一つ目の「婚姻届出数」は、H29目標値80件に対し、実績値は56件（70%）となりました。この数値は、直近5年間で、最も低い届出件数となっています。また、5年間で400件という最終目標値に対しても、H27から3年間の合計で197人（49.3%）と伸び悩んでいます。二つ目の「合計特殊出生率」は、最終目標値1.54に対し、実績値は1.14となりました。出生数で申しますと、H29は84人、H28が92人でしたので、8人減っています。次に、個別事業について説明します。（1）1）「すながわ出会い創出支援事業」は、最終目標値5事業に対し、実績値は2事業（40.0%）でありました。「出会い創出支援協議会」を開催し、意見交換を行うほか、新たな団体の実施に向けて模索をしましたが、開催には至りませんでした。（2）1）「妊婦健康診査費用助成事業」は、H29目標値・最終目標値800件に対し、実績値は717件（89.6%）であり、順調に進捗していると言えます。同じく（2）1）「特定不妊治療費助成事業」は、H29目標値・最終目標値70%に対し、実績値は25%（35.7%）であり、伸び悩んでいる状況です。前年度までは、アンケートにおける満足度も高かったのですが、H29は、4名からの回答のうち、3名が不満と回答するなど、全員が助成の拡大を望んでいました。同じく（2）1）「妊娠・出産支援事業」は、H29目標値85%・最終目標値90%に対し、実績値は74.3%であり、順調に進捗していると言えます。同じく（2）1）「陣痛タクシー事業」は、H29目標値・最終目標値30%に対し、実績値は35%であり、最終目標値の水準に達しました。ただ、実際の利用が少ないため、利用が促されるように、本年度より利用料を全額助成することにしました。（2）2）「病児・病後児保育事業」は、最終目標値90%に対し、実績値86.0%（95.6%）であり、順調に進捗していると言えます。同じく（2）2）「市立保育所開放事業」は、H29目標値150組に対し、実績値は38組でありました。また、5年間で750組という最終目標値に対しても、3年間で226組（30.1%）であり、伸び悩んでいる状況であります。同じく（2）2）「市立保育所一時保育事業」は、最終目標値900人に対し、H29実績値356人（39.6%）であり、伸び悩んでいる状況です。また、今年度より、利用しやすくなるように、4時間単位の短時間料金を設定したことで、徐々に、短時間利用者が増加している状況であります。同じく（2）2）「学童保育事業」は、待機児童なく現在まできており、登録数も前年度と同程度で推移しております。（2）3）「多子世帯保育料軽減事業」と、3つ下にある「保育料軽減事業」は、同じ指標・目標値の設定となります。最終目標値225人に

対し、H29実績値220人(97.8%)であり、順調に進捗していると言えます。同じく(2)3)「幼稚園就園奨励事業」と「幼稚園保育料負担軽減補助事業」は、同じ指標・目標値の設定となります。最終目標値83%に対して、実績値89%で、最終目標値の水準に達しました。この2つの事業の関係は、H29より、砂川天使幼稚園が「子ども・子育て支援新制度」に基づく私立幼稚園に移行したため、「幼稚園就園奨励事業」の中の、砂川天使幼稚園通園者分が「幼稚園保育料負担軽減補助事業」に振り変わったものです。同じく(2)3)「子育て支援指定ごみ袋配布事業」は、H29目標値39,000枚に対し、実績値は34,170枚でありました。また、5年間で189,000枚という最終目標値に対しても、3年間で109,210枚(57.8%)であり、伸び悩んでいる状況であります。計画値と実績値の差は、計画策定時の対象者の見込より、出生数と転入者数が減ったためであります。同じく(2)3)「乳児おむつ無料クーポン券支給事業」と「ふしぎの森利用料無料クーポン券支給事業」につきましては、本年度からの事業開始でありますので、H29の実績はございません。同じく(2)3)「インフルエンザ任意予防接種費用助成事業」は、H29目標値40%に対し、実績値は49%で、目標を達成しました。また、最終目標値が50%でありますので、順調に進捗していると言えます。基本目標3につきましては以上です。

委員長： ここは、結構厳しい数字が出ているみたいですが、皆さん質問ご意見ありませんか。私の気になる部分としては、去年との数字が極端に落ちているところが2箇所ありまして、不妊の関係でアンケート回答4人に対しての満足が1人なのでデータによるものかもしれないが、特定不妊治療費助成事業と保育所開放事業が極端に実績数値が下がってしまっているのですが、この辺は総括っていうのはやってらっしゃるのですか。

保健福祉部長： まず特定不妊治療の件であります。備考欄にも記載のとおりアンケートの客体数が少ないということもございまして、幅が振れるのが大きくなってしまいうのもあるのですが、砂川市の助成対象というのが特定不妊治療、顕微授精ですとか体外受精ということで、道の補助基準に合致したもので道の補助を受けた者に対して砂川市も上乘せするというものでございます。不満につきましては1回の治療費が高額である場合も多くて、道の補助上限が初回30万円、2回目からは15万円、市も同じ基準でございます。その道と市の補助を受けてもなお、自己負担が発生するというような場合もございまして、そういった場合につきましてはやはり満足されていない方もいらっしゃいます。また、治療費だけの助成でございまして、治療を受けるには砂川市で言うと、旭川か札幌市ということになりまして、交通費ですとか場合によっては宿泊費分を要する場合があって、そういった諸費用に対する助成も考えて欲しいと。その他については、特定不妊治療のほか一般不妊治療、人工授精もありますが、そういったところにも助成の範囲を拡大して欲しいというお話もありますので、どういったことができるのか、できないのかというのは、今、現場で検討は続けておりますし、今後も、補助を受けた

方のアンケートには触れていきたいと考えております。

また、保育所の開放事業なのですが、やはりPR不足というようなのが大きいということで現場から報告を受けておりました、それに対して今までは市の広報誌で周知を図っておりましたが、平成30年度からはふれあいセンターの乳幼児検診の際にお母さん方に開放事業のご案内を個別に差し上げるようにしております。この事業につきましては3月・4月を除いた年10回やっておりました、今年度に入りまして5月から7月の3ヶ月程度の実績でございますけど、去年の3ヶ月で9件のところが、今年は18人になっておりますので数は9人しか増えていませんが、一応実績としては昨年度よりは伸びているというような状況ではございます。

委員長： 特定不妊治療は国・道レベルの根本的な医療費の問題というような気がしないでもないですね。

保健福祉部長： やはり上限を設けないで助成しているまちも中にはございますので、そういったところは件数も少ないというようなことがあります。助成額に、対象となる治療の諸費用も含めるといったところについては、考えていかなければいけないというようなことを現場では感じているところです。

委員長： はい、わかりました。他に皆さん何かございませんか。

各委員： (特に発言なし)

委員長： 無ければ続いては、目標3は終わらせていただいて、最後の基本目標4です。時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携するという項目になります。説明をお願いします。

エ 基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

事務局： それでは、四つ目の基本目標「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」の説明に入ります。まず、上段の2つの数値目標についてです。一つ目の「民間住宅助成金交付件数」は、H29目標値77件に対し、実績値は81件(70%)で、目標を達成しました。また、5年間で385件という最終目標値に対しては、H27から3年間の合計で268件(69.6%)と、順調に進捗していると言えます。二つ目の「移住定住促進住宅入居率」は、最終目標値100%に対し、実績値は100%であり、最終目標値の水準に達しています。住宅4戸に対して、4世帯9人が入居しています。次に、個別事業について説明します。(1) 1)「中空知医療圏ネットワークシステム構築事業」は、H27の計画スタート時点で、最終目標値6自治体病院を達成しているものです。システムはH28.7に稼働しており、H29からは、自治体病院以外の医療機関

等との連携や、各自治体での地域包括ケアネットワークシステム構築（連携）を図ることとしています。同じく（１）１「砂川市地域包括ケアネットワーク事業」は、H29目標値10,000件に対し、実績値は15,745件で、目標を達成しています。また、５年間で41,000件という最終目標値に対しても、３年間で27,321件（66.6%）であり、順調に進捗していると言えます。（１）２「健康管理支援事業」は、H29目標値42%、最終目標値45%に対し、実績値は32.2%でありました。（１）３「屋根雪下ろし等支援事業」は、H29目標値132件に対し、実績値は85件であり、また、５年間で660件という最終目標値に対しても、３年間で145件（22.0%）であり、伸び悩んでいます。当該事業は、積雪量により大きく左右されるため、H29は前年度より大幅に増加していますが、事業開始から３年を迎え、周知は図られてきてはいるものの、目標値と実績に開きが生じている状況であります。同じく（１）３「除雪サービス事業」は、H29目標値59世帯に対し、実績値は85世帯であり、また、５年間で375世帯という最終目標値に対しても、３年間で272世帯（72.5%）であり、順調に進捗していると言えます。（１）４「JR砂川駅バリアフリー化の検討」は、最終目標値2箇所に対し、実績値はありませんが、現在は、エレベーター及び風除室の設置に向けて、具体案の協議をJRと進めているところであります。（２）１「まちなか住まいる等住宅促進助成事業」は、H29目標値35件に対し、実績値は35件で、目標を達成しています。また、５年間で175件という最終目標値に対しては、H27から３年間の合計で128件（73.1%）であり、順調に進捗していると言えます。同じく（２）１「永く住まいる住宅改修助成事業」は、H29目標値42件に対し、実績値は46件で、目標を達成しています。また、５年間で210件という最終目標値に対しては、H27から３年間の合計で140件（66.7%）であり、順調に進捗していると言えます。同じく（２）１「住み替え支援事業」は、H29目標値５件に対し、実績値は14件で、目標を達成しています。また、５年間で20件という最終目標値に対しては、H28から２年間の合計が25件であり、最終目標値の水準に達しました。この事業では、H29年４月から、住み替え支援を推進する係が建築住宅課に新設され、住宅相談の総合窓口が開設されたところです。同じく（２）１「移住定住促進住宅整備事業」は、最初の数値目標で説明しました「移住定住促進住宅入居率」が指標となっておりまして、最終目標値の水準に達しています。（３）１「砂川版生涯活躍のまち(CCRC)構想の検討」は、最終目標値３自治体に対し、H29実績値はありませんでした。滝川市との情報交換は引き続き行っています。同じく（３）１「中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業」は、先ほど、基本目標２で説明しました「移住定住促進事業」と同じ指標となっております。基本目標３につきましては以上です。

委員長： 基本目標４について皆さんが何か気がついたところ、ご意見あれば承りたいと思いますがいかがでしょうか。

各委員：（特に発言なし）

委員長： 街の人たちが気にしているJR砂川駅バリアフリー化について具体的な進捗状況というか、具体的にここまでいっているというようなお話を聞けたらいいなと思っているのですがどうでしょう。

建設部長： JR砂川駅バリアフリー化がどうかということであります。まず、エレベーターとですね、冬の間待つのが大変で寒いということで風除室をと、この2つを合わせて進めていくこととなります。

エレベーターにつきましては、構成は目処がついておりまして、自由通路の北側を活用して、自由通路の北側の区画を仕切りまして、上下線にエレベーターを設置するというので、方向性としてはほぼ固まっております、だいたい設置の場所等も決まり、ただこのあたりがハードルになってはいますけれども、今JRの各ホームの下に色々な通信線ですとか色々なものが入っております、それらが特に札幌行きの上り線のエレベーターがちょうど出るところに束ねるような設備があるということも伺っております、それらの移動にどれだけの費用がかかるかという計算が必要で複雑かなと言われております、それらを踏まえ今検討してくれているところであります、ですがJRの方が現状業務の繁忙期にありまして、なかなか作業が進んでおりませんが、一応、設置できる形の中では、例えば額ですとか、引き続き進めている状況であります。

あと、風除室につきましては、札幌行き側に風除室をつけるということで、跨線橋の階段を下りまして何メートルか行きますとベンチが置いてありまして、その地点に風除室ができないのかということで今検討を進めております。場所的にはそちらの場所に設置できるということで、もう確認はできておりまして、できるだけ早い時期に手続きを進めていきたいと思っておりますけれども、JRの方で工事や設置の調査につきましては、列車の運行時間帯には何もできないということで聞いております。全て夜から朝にかけての僅かな時間帯に行わなければいけないと伺っておりますので、それら諸々が進んでおりますけれども実際設置に至るまでは、時間を頂かなければいけないとは思いますが、そのような日程で進めているところであります、できるだけ風除室だけでも早めに設置をして、一定程度取り組みが見える形になるようにということで進めているところであります。

委員長： 皆さんから他にありませんか。正直あまりイメージ湧かないですね。改札してから自由通路に一回上がって、特別通路でも作ってしまうとかですか。

建設部長： 駅をイメージしていただきますと、駅の改札をして左側に向かっていきます。正面には跨線橋がありますけれども、跨線橋と今ある自由通路の階段の部分を利用してエレベーターを設けようと思っております。エレベーターで2階に上がりまして、自由通路と接続をさせて、自由通路の北側の一部を仕切りまして、自由通路の北側を渡っていただいて、札幌行きのホームの上に行きまして、そこにエ

レベーターを設置して、その下に降りるという形になっておりますので、そこを下りまして、ちょっと狭いのですが、階段下の横をすり抜けるような形です。

委員長： 自由通路を間仕切るといえることですか。

建設部長： そうです、間仕切ります。いかんせん砂川市の札幌行きのホームが他の駅のホームに比べまして非常に狭いという部分がありまして、なかなか設置場所ができないといわれています。その中で設置しますと今のところその場所しかないという役所も考えておりますし、JRのほうもそういう判断を頂いておりますので、ちょっと行ったり来たりはしますけれども、今の状況的に新たな跨線橋を作ること自体がほぼ無理ではないかと言われておりますので、現状の跨線橋を常に保守をしながら使っていただきながら、跨線橋は跨線橋として残すという形になると思っております。

委員長： はい、ちょっと見えました。他に皆さんから何かございませんか。

各委員： (特に発言なし)

委員長： 無いですね。それでは1番から4番まで全部終わりました。

経済部長： 1ページのところで岡本委員さんから雇用創出事業のことで、新設の2件について岩瀬さんと鹿島環境だと説明させていただきました。ここの部分の新規採用については今年度調査をしますので、そこでの新規採用があったか無かったかについては、30年度にもしあれば数字が入るということで、29年度までは無かったという説明ということで報告させていただきます。

委員長： 了解しました。それでは全体総括なのでございますけれども事務局のほうから総体でお話ありますか。

事務局： それでは「全体総括」ということで、資料5になります。全部で5ページとなっておりますが、まず、4ページは、「特記事項 (ポイント)」であり、特に気になる点を補足として抜き出しています。後ほど、ご覧いただきたいと思っております。次に5ページでございますが、H29に事業の見直しを行ったことなどにより、前年度に比べて実績値が伸びたもの、変化したものなどを抜き出したものなので、資料4の説明の中で触れていますが、後ほどご確認いただければと思います。また、1ページから3ページについては、H29に目標値設定のされている事業の、目標値と実績値の状況、更には、全個別事業の最終年度であるH31までの目標値と実績値の状況についてまとめたものです。時間の都合上、細かな説明は省略しますが、各指標

の状況については資料4で説明したとおりでありまして、指標の達成度合いから見た、事業の良し悪しで判断いたしますと、H29に目標値設定のされている事業の、目標値と実績値の達成状況では、26事業中、17事業が良好であったと言えますし、最終年度であるH31までの目標値と実績値の状況では、46事業中、32事業が良好に推移していると言えますので、一部には、伸び悩んでいる事業はありますが、全体としては、一定の成果は上がっているものと判断したところでございます。全体総括は、以上でございます。

委員長： なかなか目に見えない部分もあるので、一括しないと実感も沸かない部分もあるのですが、結果的にはなんとなく苦心している部分があるのかなとは思っています。

それでは、皆さんから最後に意見を伺いたいのですが最初話した部分で31年度の予算に関与できるのは今回だけですので、30年を振り返って、ここをこうしたら良い、ああしたら良いというような意見は今回ぐらいしか出せないの、もしそういう意見があれば伺いたいと思うのですが、どうですか。

各委員： (特に発言なし)

委員長： 無いということですが、それぞれ各所管の部署で色々やってもらうわけですので、30年度、31年度の事業につきましては、なんとか成功裏に動くような形でアクションを起こしていただければと思います。それでは最後、次第の7、その他ということで事務局の方からお願いします。

事務局： 今後の会議の開催についてであります。これから今回の評価結果を踏まえながら次年度予算の編成に向けて動くわけですが、事業の見直し等によって計画に大きな変更が生じるような場合には、会議を開催していきたく考えおります。事務局からは以上です。

委員長： それではこれで第1回砂川市総合戦略推進委員会を終了したいと思います。どうもありがとうございました。

会議終了 (17:05)